

京ホ連ニュース

2017年度 vol.1

発行者：京都府ホームヘルパー連絡協議会

報 告

【報告】 2017年度総会・第1回研修会

～頼まれたこと、どこまでやっていいの!? グレーゾーンについて一緒に考えてみませんか?～ 2017.6.14 @ハートピア京都3階大会議室

2017年度の総会を平成29年6月14日(水)ハートピア京都にて開催しました。今年度の総会は出席者158名(委任状124名含む)にて開催されました(京ホ連規約第8条により総会は成立)。総会での議案審議に先立ち、来賓としてご出席いただいた片岡美香課長(京都府健康福祉部高齢者支援課)から激励のごあいさつをいただきました。総会では、平成28年度事業報告案・決算案、平成29年度事業計画案・予算案、役員改選について、規約の変更についてが原案通り承認されました。

総会後に開催した第1回研修会は、～頼まれたこと、どこまでやっていいの!? グレーゾーンについて一緒に考えてみませんか?～をテーマに開催し、82名の参加がありました。

4つの「よくある」事例をもとに、ヘルパーとしてどのように対応すればよいか、グループで話し合いました。また、頼まれごとを、単にできないと断るだけでなく、どのように伝えるか、何とかしてできないかという工夫についても発表され、盛況のうちに終了しました。



研修会の様子

●参加者のアンケートから・・・●

- ・事例が良くあることもあったが、難しい題材もあった。グレーゾーンというだけあり、これだという答えが出しづらいこと、他事業所の方といろいろ考えることができ勉強になった。
- ・同じことで悩んでいることが知れてよかった。ただ単に「できない」ではなく「出来るためには」「できる方法」を考えてくことが大切だと思いました。
- ・できないことはしっかりと伝えるが納得されないことも多い。少し歩み寄り出来るようになるのかもあるのがわかりました。

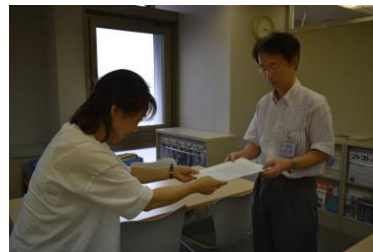
～平成 29 年度総会で選出された新幹事の皆様～

- ・会長 松村 順子 さん（亀岡市社会福祉協議会 ホームヘルプセンター）
 - ・副会長 藤原 章子 さん（ヘルパーステーションやすらぎ）
 - ・会計 荻野 和泉 さん（総合老人福祉施設はごろも苑ホームヘルプセンター）
 - ・幹事 雨林 寿美 さん（ふきのとう訪問介護事業所）
 - ・幹事 井尻 さとみ さん（ヘルパーステーション長生園）
- どうぞよろしくお願いいたします！

～ “京都府との要望懇談会” を実施しました～

今年度も、現場の実態を伝え行政施策に反映させるため、京都府（担当課）と要望懇談会を実施しました。8月23日に京都府高齢者支援課、介護・地域福祉課（各課副課長4名）にお越しいただき、要望書を提出し現場の課題を伝えました。

要望懇談会では会員を代表して会長をはじめ幹事（計4名）が出席し、懇談前に実施した実態調査アンケートの結果を資料として活用しながら、ホームヘルプの現場で今課題となっていることや実態を伝えました。昨年度に引き続き、訪問介護事業所における人材不足とそれに対する施策についてや新しい総合事業への対応および事業所への影響などについて、意見交換しました。要望懇談会の報告については、「平成29年度京都府との要望懇談会報告書」をご確認ください。



また、「もっと京ホ連ワーキングチーム」で作成した訪問介護計画書の様式が、府内の訪問介護事業所でお使いいただけることを確認しました。各事業所様において、必要があれば使用していただけるよう、データをお送りいたします！

【要望書の概要】

1. 訪問介護事業所における人材不足について御理解いただき、訪問介護事業所の人材確保について具体的な御支援をお願いいたします。
2. 今後ますます増加することが見込まれる、重度の利用者や看取りのニーズに対応できるよう、ホームヘルパーの育成について、研修機会の提供等の御支援をお願いいたします。
3. 介護予防・日常生活支援総合事業について
 - ① 移行状況や訪問介護事業所の運営への影響について、実態を把握していただくとともに、各市町村への適切な指導をお願いいたします。
 - ② 生活援助を中心に訪問介護を行う場合の人員基準及び報酬について、生活援助の専門性を踏まえた検討について、国への要望をお願いいたします。

【第2回研修会（訪問介護員実技研修）】

～ヘルパーのための“在宅”介護技術講座～2017.9.22 @京都保育福祉専門学院

第2回研修会は“技術を学ぶ研修”として毎年実施している「ヘルパーのための”在宅”介護技術講座」を開催しました。

講師は、京都保育福祉専門学院（京都府介護福祉士会事務局長）の岡本匡弘先生にお願いし、利用者さんにもヘルパーにも負担のない体の動かし方について、ボディメカニクス等の理論を踏まえながら実践し、確認し合いました。

毎年のことながら、理論的に身体の使い方を学んだうえで、利用者さん役とヘルパー役を交代しながら実技を体験することで、普段の自身の技術をあらためて振り返る機会になりました。



【アンケートの結果から】

- ・ボディメカニクスの活用など、お互いに体の負担がないように支援する事の大切さを体験できて良かったです。
- ・今まで教わっていたやり方も、今はあまりされない事も知りびっくりしたので定期的に研修に行きたいと思いました。
- ・自己流になりがちであった実技を今一度考え、学ぶことができました。

★ 今後の予定 ★

～第3回研修会（訪問介護員実技研修・訪問介護員基礎研修）～

- 日時：平成29年10月23日（月）11：00～14：30
- 場所：市民交流プラザふくちやま（福知山市立中央公民館）クッキングルーム
- 講師：野間 智子 先生（奈良佐保短期大学 准教授）
- 参加費：1500円（会員外：3500円）
- 内容：利用者にとって食べやすく、バランスの良い食事づくりの基本を学びます。



●発行元● 京都府ホームヘルパー連絡協議会

（事務局）〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る

京都府社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア振興課 内

TEL：075-252-6294 / FAX：075-252-6310

ホームページ：http://www.kyoshakyo.or.jp/kyohoren/